

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	AC310／史学講義 10 (Lectures on History 10)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	前近代東アジア・ユーラシア2		
担当者名 (Instructor)	辻 大和(TSUJI YAMATO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(1 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	HIS3500	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

近世朝鮮の国際関係史の基本的な動向、基礎的史料、制度について自分で説明できるようになること

To explain basic knowledge on pre-modern Korean history

授業の内容(Course Contents)

講義では、歴史学の最新成果に基づき、14世紀の朝鮮王朝建国から19世紀の開港にいたる、約500年間の朝鮮王朝と周辺諸国との関わりに関する基礎的知識を学ぶ。同時代の朝鮮半島と中国・日本等との交流の状況について把握し、歴史の見方・考え方について習得する。

This course studies Korean history from 14th to 19th century

授業計画(Course Schedule)

1. ガイダンス 韓国朝鮮の地理、基礎的な工具書
2. 高麗と元
3. 朝鮮の建国と明
4. 朝鮮の国家体制と史料、データベース
5. 朝鮮と中世日本
6. 朝鮮と東北アジア
7. 壬辰丁酉の乱（文禄慶長の役）
8. 丁卯丙子の乱
9. 朝鮮と清①：清朝と朝鮮との関係
10. 朝鮮と清②：燕行使と燕行録
11. 朝鮮と近世日本：倭館、通信使
12. 19世紀の朝鮮
13. 開港と国際関係
14. 総括・まとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

東洋近世史に馴染みの薄い受講生は、授業初回等に案内する補習教材で自習すること。

全受講生がテキストを毎回予習するほか、数回に一回の小課題(指定文献を規定字数内に要約して考察するもの)を提出すること。シラバスや各回教材掲載の参考文献のうち、自身の問題関心に近いものを読み発展学習させること。

成績評価方法・基準(Evaluation)

レポート試験(Report Exam)(50%)/毎回のリアクションペーパー(20%)/数回に一回の小課題(30%)

テキスト(Textbooks)

1. 岸本美緒／宮嶋博史、2008、『世界の歴史 12 明清と李朝の時代』、中央公論新社 (ISBN:9784122050549)

参考文献(Readings)

1. 武田幸男編、2000、『朝鮮史』、山川出版社 (ISBN:9784634413207)
2. 田中俊明編、2008、『朝鮮の歴史—先史から現代』、昭和堂 (ISBN:9784812208144)
3. 森平雅彦、2011、『モンゴル帝国の覇権と朝鮮半島』、山川出版社 (ISBN:9784634349377)
4. 六反田豊、2013、『朝鮮王朝の国家と財政』、山川出版社 (ISBN:9784634349483)
5. 山内弘一、2003、『朝鮮からみた華夷思想』、山川出版社 (ISBN:9784634346703)
6. 関周一編、2017、『日朝関係史』、吉川弘文館 (ISBN:9784642083089)
7. 韓国教員大学歴史教育科編、2006、『韓国歴史地図』、平凡社 (ISBN:9784582411058)

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)